



TITLE:

故小島昌太郎名誉教授・哀辞

AUTHOR(S):

経済学会

CITATION:

経済学会. 故小島昌太郎名誉教授・哀辞. 経済論叢 1978, 122(1-2)

ISSUE DATE:

1978-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/133745>

RIGHT:

經濟論叢

第122卷 第1・2号

哀 辭

故小島昌太郎名誉教授遺影および略歴

The Oriental Bank Corporation, 1851-84 年 (下)

.....本山美彦 1

ドイツ第二帝制における1879年の政策転換に

関する一研究野田敬一 23

労働者の生活時間構造と余暇福島利夫 45

資本主義社会における老人の生存権について小川和憲 68

ゴエルロ計画の方法と発表後の経過中江幸雄 86

追 憶 文

小島昌太郎先生を憶う堀江保蔵 111

小島昌太郎先生を偲ぶ中谷實 114

昭和53年7・8月

京都大學經濟學會

哀 辞

本学名誉教授 小島昌太郎先生は 去る昭和53年6月11日
京都のご自宅にて老衰のため ご永眠されました ここに謹
んで哀悼の意を表します

先生は 明治45年京都帝国大学法科大学政治学科をご卒業
になり 大正6年法科大学講師 同7年助教授 同8年経済
学部創設とともに同学部勤務となられ 同13年より昭和21年
ご退官まで教授として教育と研究および後進の養成に尽力さ
れました その間昭和4年から6年まで経済学部長として大
学行政の面でも多くの貢献をされました その後 昭和23年
には兵庫県立神戸商科大学長 同37年には桃山学院大学長と
要職を歴任され わが国教育界において大きな活躍をされま
した

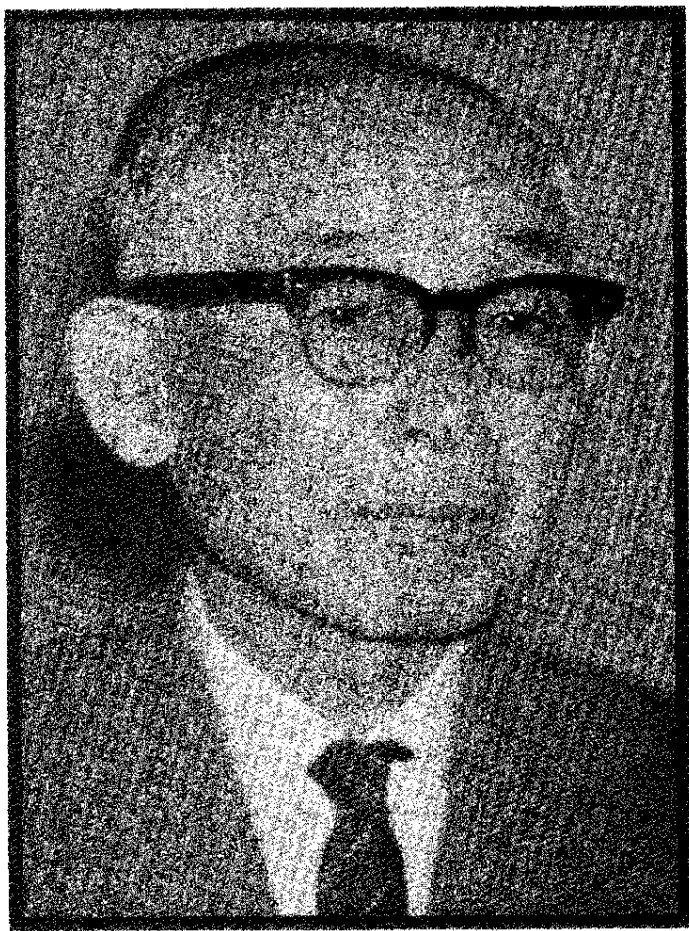
先生は 保険論 海運・交通論 経営学 金融論の先駆的
学者として 30冊を超える著書および多数の論文を残され
わが国のみならず世界の学界に与えられた影響は まことに
大なるものがあります

先生は 昭和17年に勲二等 同21年には正三位に叙せられ
同40年には旭日重光章の叙勲を受けられました また同42年
に日本海運経済学会会長に就任 同45年には運輸大臣より交
通文化賞を授与されましたが これらは先生の功績がいかに
偉大であったかを示すものであります

経済学部にて在職中 おおくの子弟を教育され また本誌に
も数多くの貴重な論文を発表され わが学会のため この
ほかご尽力をいただきました 茲に 在天の先生の御霊にた
いして ころから御冥福をお祈り申し上げます

昭和53年7月10日

京都大学経済学会



故小島昌太郎名譽教授遺影

小島昌太郎先生御略歴

明治21年 1 月21日	大阪市南区九郎右衛門町に生る
明治45年 7 月20日	京都帝国大学法科大学政治学科卒業
大正 6 年 7 月24日	本学法科大学講師
大正 7 年 4 月22日	京都帝国大学法科大学助教授
大正13年 3 月31日	京都帝国大学教授（経済学部）
大正15年 6 月 5 日	経済学博士
昭和 4 年11月30日	京都帝国大学経済学部長
昭和17年 3 月10日	勲二等に叙せらる
昭和21年 3 月30日	依願免本官
昭和21年 4 月24日	正三位に叙せらる
昭和23年11月13日	兵庫県立神戸商科大学長
昭和25年11月 4 日	京都大学名誉教授
昭和37年 4 月 1 日	桃山学院大学長
昭和40年11月 3 日	旭日重光章を授けらる
昭和42年10月14日	日本海運経済学会会長
昭和45年11月 3 日	運輸大臣から交通文化賞を授けらる
昭和53年 6 月11日	御逝去